

平成 2 1 年 度

事 業 概 要

平成 2 1 年 5 月

国土交通省 中部地方整備局
北 勢 国 道 事 務 所

ミッション（使命）

三重県北勢・
伊賀地域の
安全で円滑な
道路交通を
目指して

北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の減少等を図り、「活力ある社会」「安全・安心」「生活環境の創造」に貢献します。

道路事業の目標

三重県の北勢地域、伊賀地域は、中部圏と関西圏を結ぶ交通の要となる地域で、産業や観光等が活発な三重県全域を牽引する元気な地域ですが、慢性的な道路交通渋滞や交通事故が多発する地域でもあり、暮らしや経済等に大きな影響を与えています。

この為、それらの解消と更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県民の元気づくり『県民しあわせプラン』も支援することになります。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部の集中する通勤交通や沿岸部の物流交通等により慢性的な道路交通渋滞が発生し、暮らしや経済に大きな影響を与えています。

活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 広域的道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道258号大桑道路：桑名・大垣間の渋滞緩和

安全・安心できる暮らしの確保

国道25号（名阪国道）は、近年の交通量の増加や高速化・大型化による重大事故を含めた交通事故が多く発生しており、これらの減少が緊急の課題となっています。また、東海地震、東南海・南海地震が懸念され、災害時のライフラインや緊急輸送路としての機能確保が求められています。

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化、防災対策を進めます。

- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀地域の道路交通の安全・安心の向上

質の高い生活環境の創造への支援

歩行者、自転車などの幅広い道路利用者への道路空間を利用した各種サービスの提供やCO₂など沿道環境の保全等により、質の高い生活空間の創造を支援します。

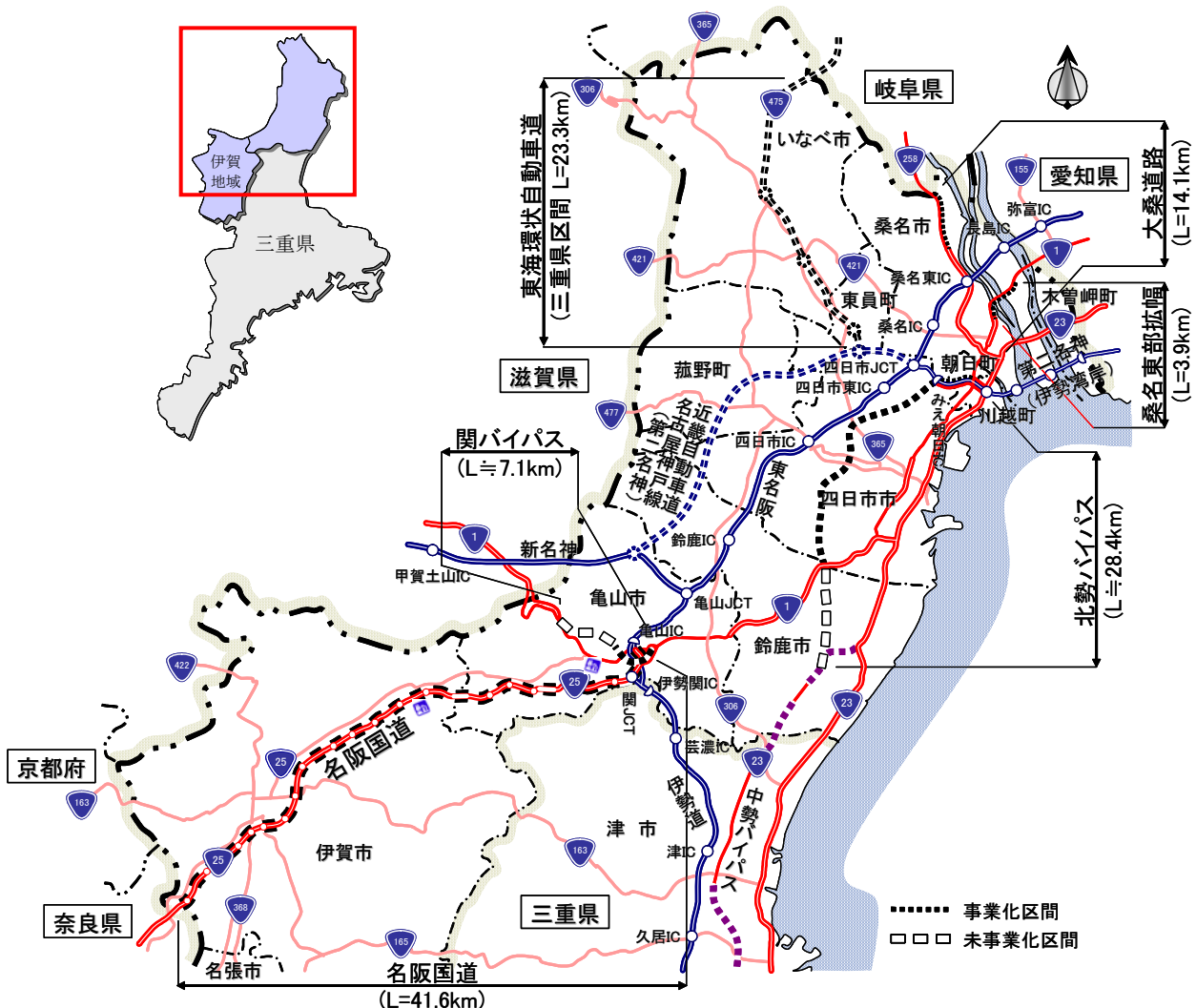
1. 北勢国道事務所の所管

北勢国道事務所は、国道1号、25号、258号、475号の4路線、約118kmの整備事業を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長41.6km）の維持管理を担当しています。

広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅、国道258号大桑道路の現道拡幅事業及び全国的な交流ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）の整備・推進を行っています。

交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県区間）の交通安全対策の整備方針に基づき、交通安全対策を重点に調査・設計・インター改良・路肩拡幅及び関係機関との協議と、維持・修繕の事業・推進を行っています。

○ 事業箇所



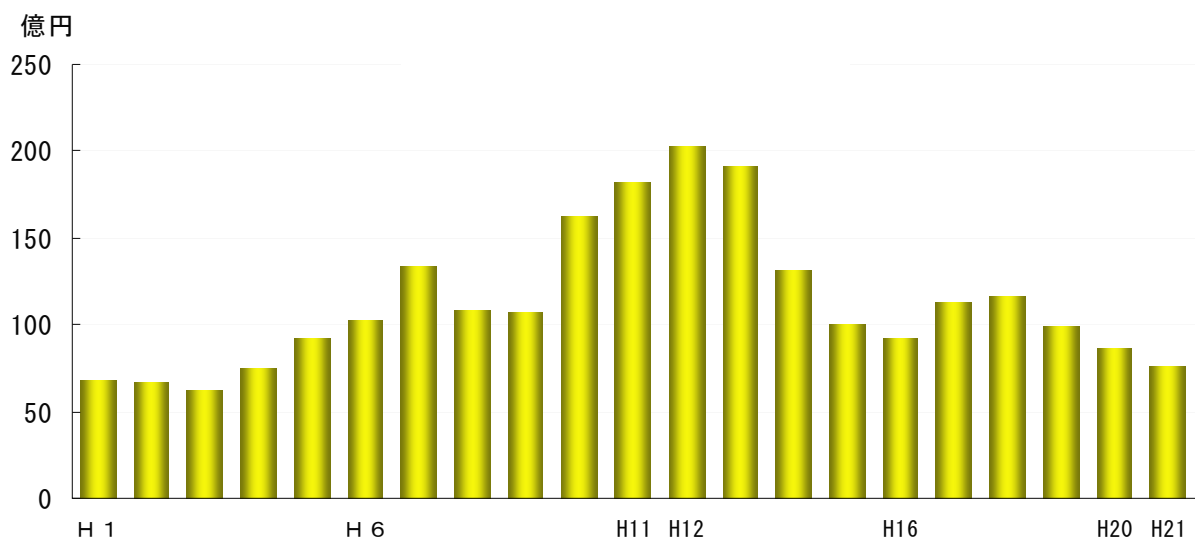
2. 北勢国道事務所の事業費

平成 21 年度の総事業費は、 7,577 百万円であり、その内訳は下表のとおりです。

○ 平成 21 年度事業費

費 目	事 業 費 (百万円)	備 考
交通円滑化事業費	2,784	
地域連携推進事業費	586	
道路維持修繕費	1,474	
交通安全施設等 整備事業費	400	
交通事故重点対策事業費	2,333	
合 計	7,577	※. 調査費関係 40百万

○ 事業費の推移



3. 北勢国道事務所の事業内容

○ 平成21年度のポイント

北勢バイパス：みえ朝日IC～^{あさひ}垂坂1号線間の暫定供用と国道477号バイパス迄の用地取得等を推進します。

関バイパス：^{たいこうじちょう}太岡寺町～^{せきちやうわしやま}関町鷺山間迄の工事，調査設計，用地取得を推進するとともに，埋蔵文化財調査を継続します。

桑名東部拡幅：^{いせ}伊勢大橋架替関連区間の用地取得を継続するとともに，架け替えに必要な調査設計，関係機関との協議を進めます。

名阪国道：交通安全対策を重点においてIC改良工事，路肩拡幅工事及び必要な環境対策工事を推進するとともに維持・修繕を行います。

大桑道路：下野代地区までの4車線化工事を推進するとともに，県境までの調査設計，関係機関との協議を推進します。

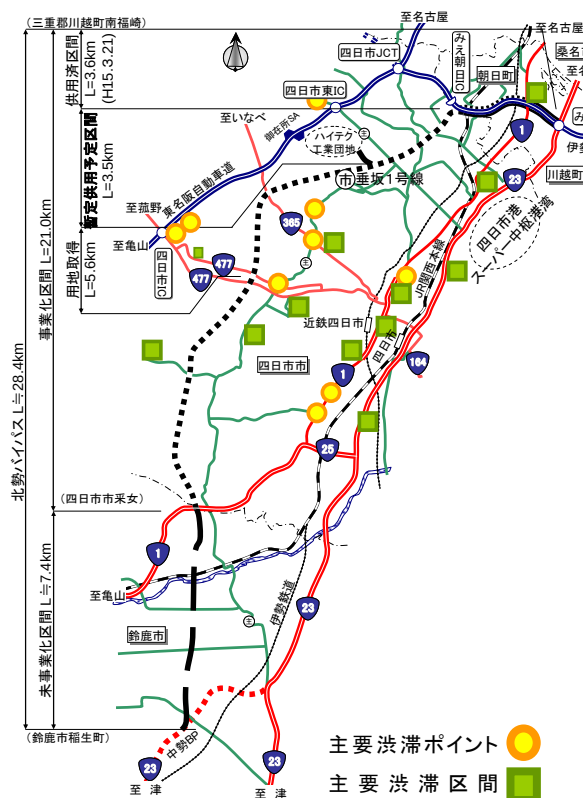
東海環状自動車道：^{ほくせい}北勢IC（仮称）～^{よっかいちきた}四日市北JCT（仮称）間の調査設計，用地取得及び工事を推進し，^{ほくせい}県境～北勢IC（仮称）の調査設計を進めます。

(1) 北勢国道事務所事業箇所

路線名	箇所名	事業延長 (km)	場 所
1号	^{ほくせい} 北勢バイパス	21.0	^{みえぐんかわごえちやう} 三重郡川越町～ ^{よっかいちしやうねめ} 四日市市采女
	^{せき} 関バイパス	2.5	^{かめやましたいこうじちやう} 亀山市太岡寺町～ ^{せきちやうわしやま} 同市関町鷺山
	^{くわな} 桑名東部拡幅	3.9	^{くわなしながしまちやうまたぎ} 桑名市長島町又木～ ^{きはまちやう} 同市北浜町
25号	^{めいはん} 名阪国道	41.6	^{かめやましたいこうじちやう} 亀山市太岡寺町～三重・奈良県境
258号	^{だいそう} 大桑道路	14.1	^{くわなしただちやうゆい} 桑名市多度町柚井～ ^{いずみ} 同市和泉
475号	^{とうかい} 東海環状自動車道 (^{ほくせい} 県境～北勢)	9.0	岐阜・三重県境～ ^{ほくせいちやう} いなべ市北勢町
	^{とうかい} 東海環状自動車道 (^{ほくせい} 北勢～ ^{よっかいち} 四日市)	14.4	^{ほくせいちやう} いなべ市北勢町～ ^{よっかいちきたやまちやう} 四日市市北山町

渋滞緩和・交通安全・地域プロジェクト支援

本年度は、みえ朝日 I C^{あさひ}～^{たるさか}㊦垂坂 1 号線間において暫定供用を目指します。また、㊦垂坂 1 号線～国道 477 号バイパス迄は引き続き用地取得等を進めます。



Technical drawing of a roof plan showing dimensions and structural layout. The drawing includes a central rectangular area with a width of 19.50 and a length of 10.00. The length is divided into segments of 1.00, 7.00, 2.00, 7.00, and 1.00. The width is divided into segments of 0.75, 1.00, 0.75, and 1.00. The central area is labeled with dimensions 2@3.50= and 2@3.50=. The drawing also shows a series of vertical lines representing structural elements, with dimensions 4.00, 5.00, 1.00, 5.50, 3.25, 1.50, 0.75, 5.50, 1.00, 5.00, and 4.00. The drawing is labeled with dimensions 19.50, 10.00, 1.00, 7.00, 2.00, 7.00, 1.00, 0.75, 0.75, 1.00, 4.00, 5.00, 1.00, 5.50, 3.25, 1.50, 0.75, 5.50, 1.00, 5.00, and 4.00.

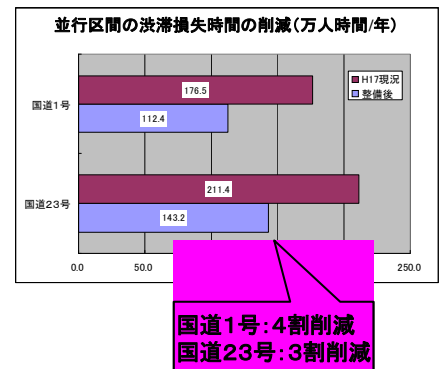
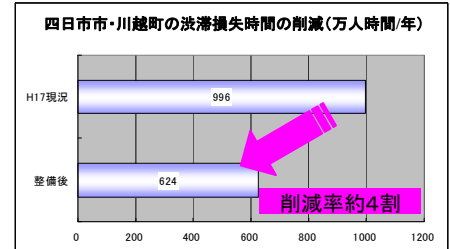
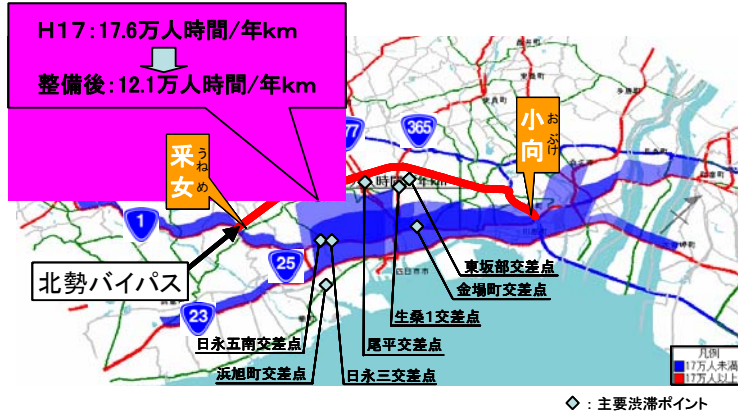
- ※1 渋滞損失時間…渋滞がない場合と比較して渋滞の発生により余分に要する時間

事業化年度	平成4年度
都市計画決定	平成2年12月25日
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h(一部60km/h)
供用区間	川越町南福崎～四日市市広永町 L=3.6km

幹線道路の交通混雑緩和

・北勢バイパスの整備により、分散機能が發揮され並行する1号、23号の主要渋滞ポイントを含む区間の渋滞損失時間を削減します。

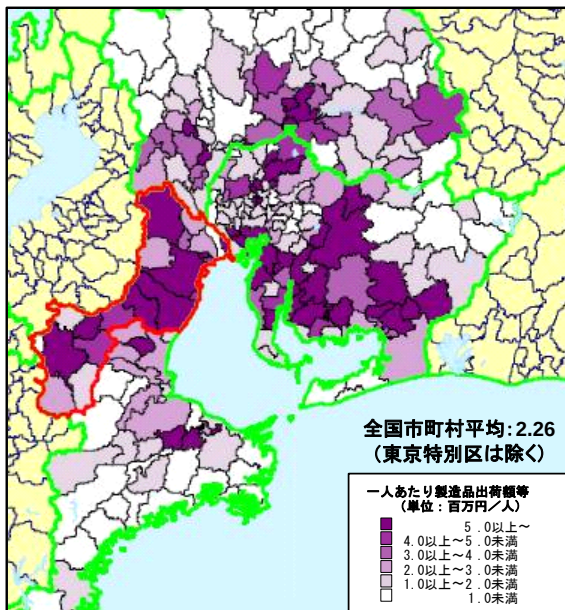
<幹線道路の交通混雑緩和・解消>



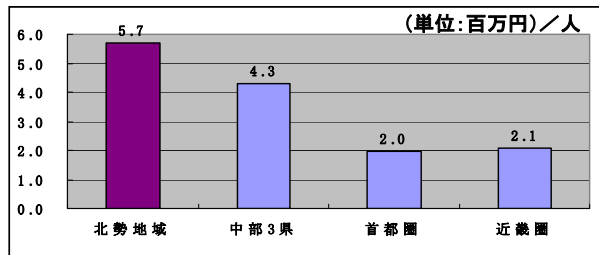
地域開発の発展をうながす道路

・三重県において、北勢地域は特に生産力が高く、県内製造品出荷額70%超を占める県経済を支えるエリアであり、多くの工業団地が立地しています。さらに主要企業において、追加の設備投資が計画されており、北勢地域のますますの活性化に寄与します。

<北勢地域の経済状況>



経済好調の中部において特に生産力の高いエリア



さらに

三重県内の製造品出荷額の70%超を占める 県経済を支えるエリア

■人口	100万人	県全体の54%
■年間製造品出荷額等	6.4兆円	県全体の73%
■年間小売業販売額	1.0兆円	県全体の55%
■年間観光入込客数	1,800万人	県全体の36%

出典: H15工業統計(経済産業省)、
H15住民基本台帳人口要覧(総務省)を基に作成

人口あたり製造品出荷額(出典: 工業統計)

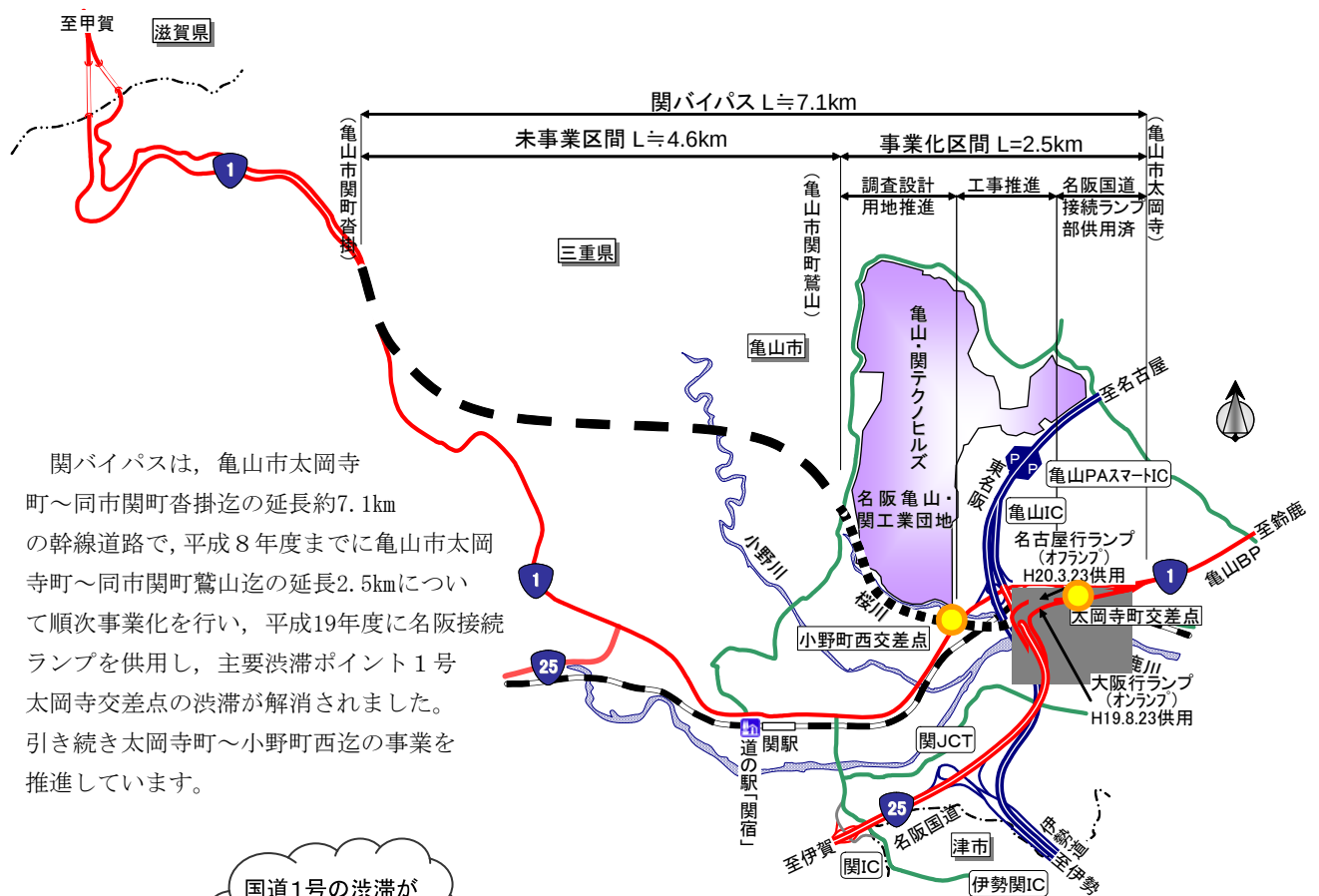


国道1号関バイパス

渋滞緩和・交通安全・地域プロジェクト支援

関バイパスは、国道1号の増加する交通量に対応し、適切な交通機能分担を図るとともに、道路交通の安全確保を図り、更に地域発展の核となるプロジェクトを支援するバイパスです。

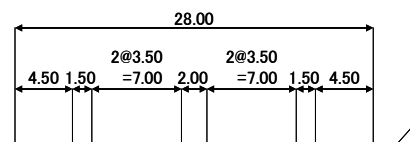
本年度は、かめやましたいこうじちよう 亀山市太岡寺町～せきちようわしやま 同市関町鷺山間迄の工事調査設計、用地取得を推進するとともに、埋蔵文化財調査を継続します。



関バイパスは、亀山市太岡寺町～同市関町鷺山迄の延長約7.1kmの幹線道路で、平成8年度までに亀山市太岡寺町～同市関町鷺山迄の延長2.5kmについて順次事業化を行い、平成19年度に名阪接続ランプを供用し、主要渋滞ポイント1号太岡寺交差点の渋滞が解消されました。引き続き太岡寺町～小野町西迄の事業を推進しています。



国道1号の渋滞が
解消した事で、ゴミ
のポイ捨て減った。
(亀山市観光協会ヒアリング)

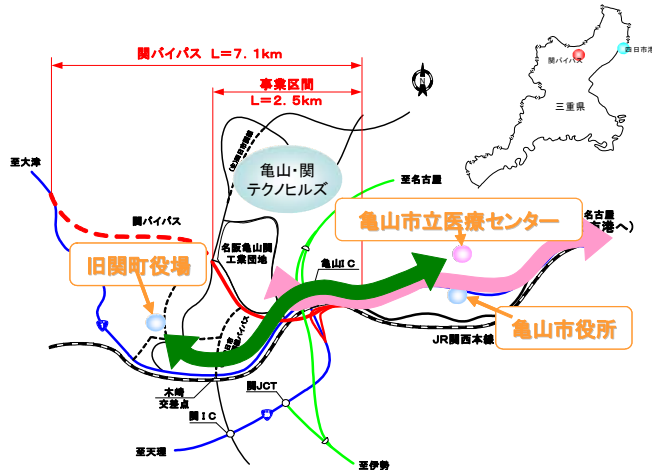


主要渋滞ポイント

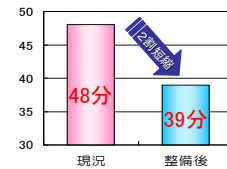
事業化年度	昭和49年度 平成8年度（復活）
都市計画決定	平成8年11月5日
道路規格	第3種2級
設計速度	60km/h
供用区間	名阪接続ランプ (オンランプ：H19.8.23) (オフランプ：H20.3.23)

地域経済の支援

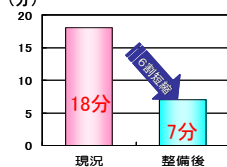
- ・全線開通により、工業団地への立地促進、地域内のアクセス性向上等地域経済の更なる発展に寄与する。
- ・工業団地「テクノヒルズ」から四日市港へのアクセス時間が約2割程度短縮されるだけでなく、高次医療施設への所要時間が約6割短縮されます。



〈工業団地と四日市港との時間短縮〉

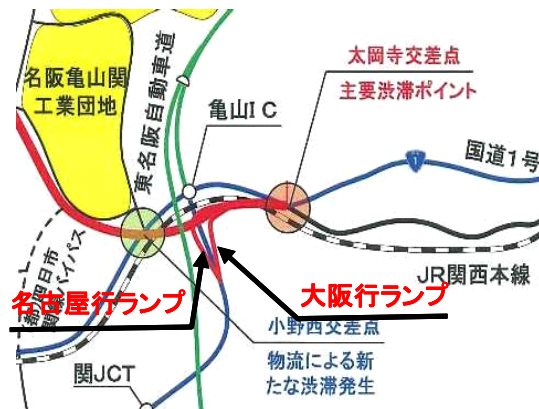


〈関町中心部から医療センター（2次救急施設）へのアクセス時間の変化〉

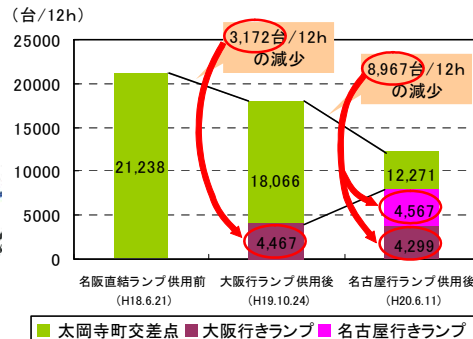


バイパス整備により地域環境が良好に

- ・ランプ開通に伴い主要渋滞ポイントである太岡寺交差点の渋滞が大幅に減。



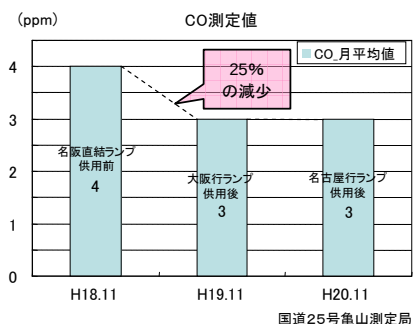
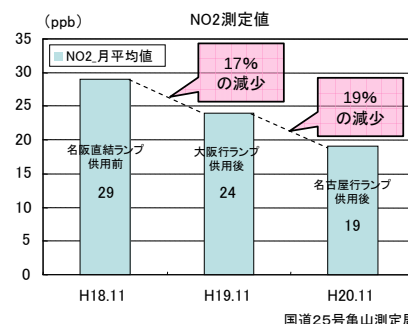
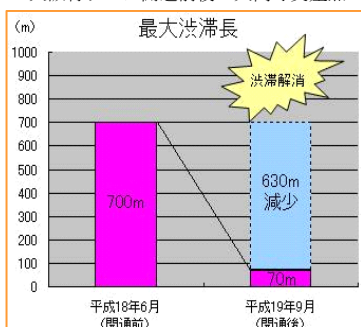
太岡寺町交差点交通量



太岡寺町交差点の交通量が
大阪行き・名古屋行きランプに転換！

- ・ランプ開通に伴い主要渋滞ポイントである太岡寺交差点の渋滞が大幅に減。

＜大阪行ランプ開通前後の太岡寺交差点＞

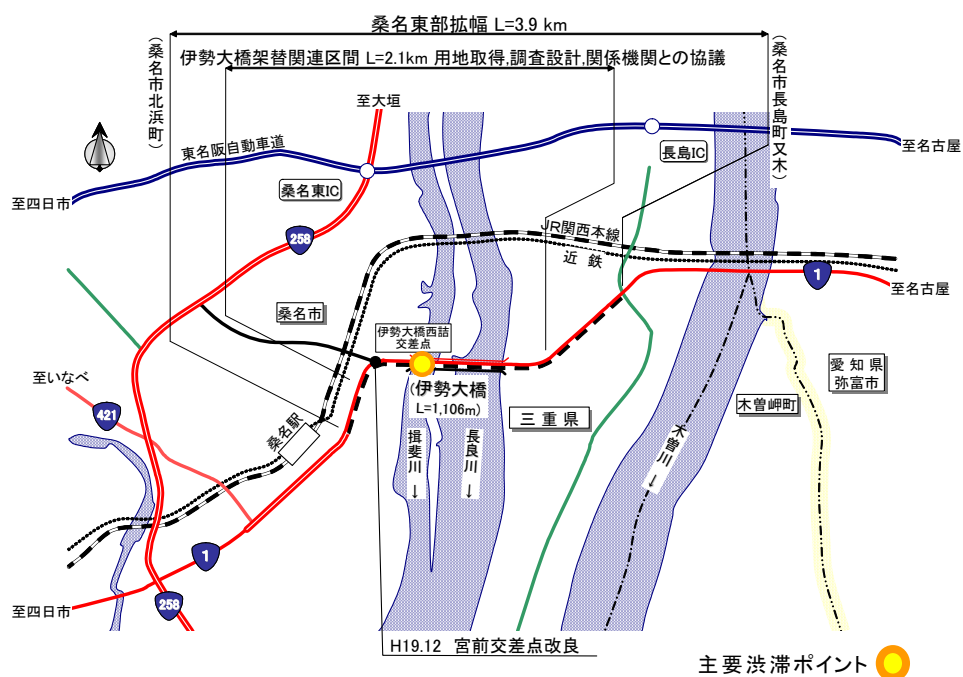


伊勢大橋の架け替え・渋滞緩和・交通安全

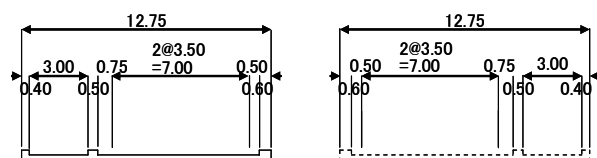
い せ

本年度は、伊勢大橋架替関連区間で用地取得を継続するとともに、架け替えに必要な調査設計、関係機関との協議を進めます。

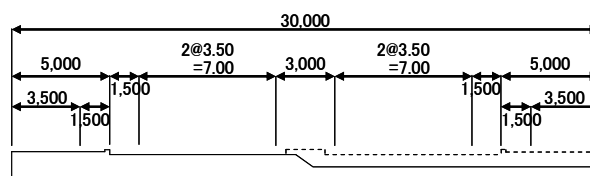
桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業で、昭和51年度に事業化、昭和61年1月に都市計画決定され、昭和63年度より、伊勢大橋架替関連区間の延長2.1kmの事業を推進しています。



【伊勢大橋架替関連区間】



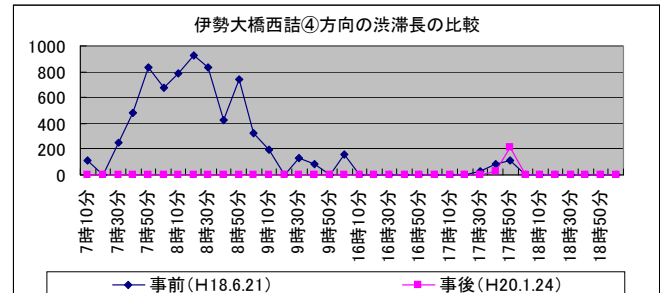
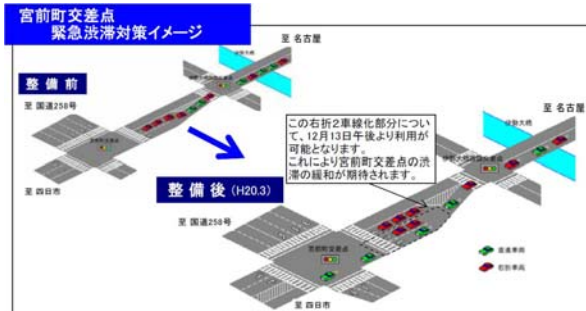
【一般部(土工)区間】



事業化年度	昭和 51 年度
都市計画決定	昭和 61 年 1 月 31 日
道路規格	第 4 種 1 級
設計速度	60km/h

幹線道路の交通混雑緩和・解消

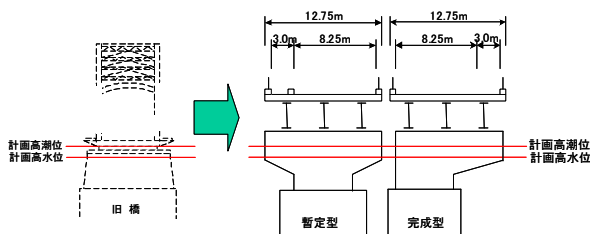
宮前交差点の改良を行い、主要渋滞ポイントである西詰交差点の渋滞が緩和されました。



安全な生活環境の確保

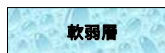
- ・新橋は、現在の橋に比べ耐震性、治水安全度が向上するため、道路の防災対策・危機管理の充実につながる。

<道路の防災対策・危機管理の充実>

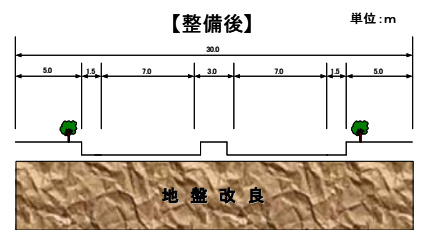


- 伊勢大橋の架替では橋梁嵩上げと築堤により、治水安全度が向上
- 大規模な地震にも対応できる耐震性に優れた橋梁
- 地震時等の避難経路や緊急輸送道路の確保

【整備前】



【整備後】



- 現道は、軟弱地盤であるため本事業において、液状化対策の実施を図り、避難経路や第一次緊急輸送道路の形成を確保

伊勢大橋の老朽化対策

- ・伊勢大橋は、昭和9年度（73年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいる。
- ・B活荷重（※1）対応がなされていないため、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車（※2）が通行できない状態にあるため、整備が必要。

<中堤上流からの全景>



※1 B活荷重とは

道路橋示方書で定められた自動車荷重であり、車両総重量25tの大型トラックを想定。この荷重が適用される道路は、大型車交通量の多い路線を対象としている。

○対象道路

- 高速自動車国道、国道、都道府県道
- 上記道路と基幹的な道路を形成する幹線市町村道

※2 ISO規格背高海上コンテナ輸送車とは

ISO(国際標準化機構)規格を満たす貨物用コンテナのうち、長さが40ft(12.192m)のものでさらに高さが約2.9mのものを指す。



トレーラー諸元

全長	: 12,525mm
全幅	: 2,490mm
全高	: 1,600mm
最大積載量	: 30,480kg
車両重量	: 4,190kg
第5輪荷重	: 10,960kg



国道25号名阪国道

交通安全

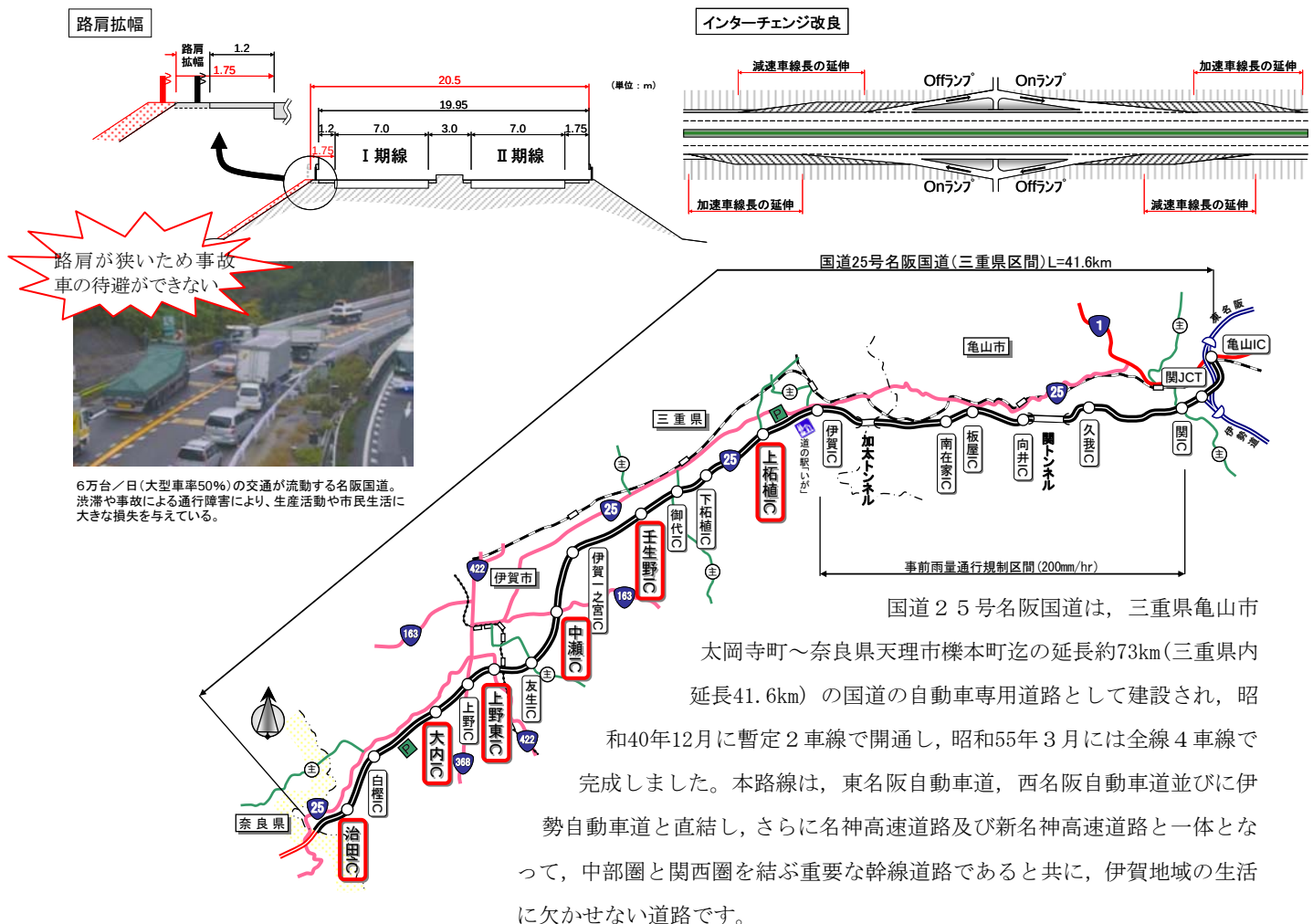
めいほん

名阪国道は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良や路肩拡幅等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めます。

本年度は、地域との懇談会等による交通安全対策の整備方針に基づき、交通安全対策に重点をおいて、ハード対策やソフト対策の調査・設計、インター改良工事の推進（上柘植IC、壬生野IC、中瀬IC、上野東IC、大内IC、治田IC）、路肩拡幅及び非常駐車帯整備のほか環境対策工事等を推進します。

あわせて積極的な情報提供とその高度化を図るため、道路情報板の更新、VICSの設置を行います。また、通行障害情報提供等の充実を図ります。

通行規制区間の解除を目指した防災対策を進めるとともに、地震時の信頼性向上を目指した耐震補強工事、及び道路構造物の長寿命化（P11.コラム参照）を図るために橋梁床版補強工事を推進します。



事業化年度：昭和56年度

道路規格：第1種3級

設計速度：60km/h, 80km/h

名阪国道の安全安心走行を考える懇談会を実施

・道路利用者の視点に立った事故危険箇所の抽出等のため、平成 18 年度から地域住民や道路利用者、関係機関が一体となった懇談会を開催し、名阪道路の安全安心走行管理に向けた対策案の立案とフォローアップを行っている。

＜ソフト対策＞

- ・地域ユーザー、輸送事業者等の自主的な意識啓発
- ・高速隊による取締り強化
- ・積極的な道路情報の提供

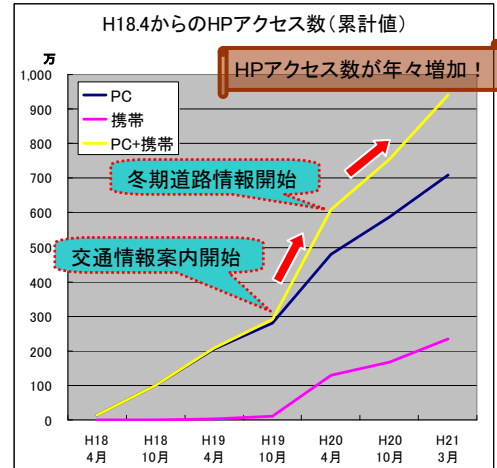
名阪国道の安全安心走行を考える懇談会

◆関係組織が一体となって検討し、安全対策の整備方針を決め対策を決めていきます。

○懇談メンバー

- ・トラック協会
- ・女性会議
- ・商工会議所
- ・自治会長
- ・観光協会
- ・三重県
- ・警察
- ・国土交通省 等

○懇談会写真

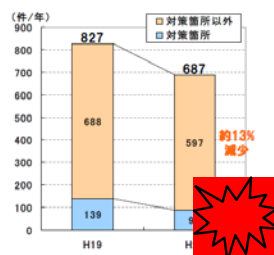


事故対策の効果

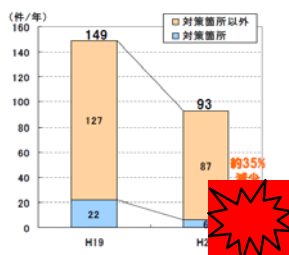
・関係者と一丸となって対応。特に人身事故については名阪全体で 35%削減、対策箇所については 75%削減。

・事故件数は平成 15 年をピークに減少傾向。平成 20 年の事故件数は 687 件/年で過去 10 年間で最も少ない。

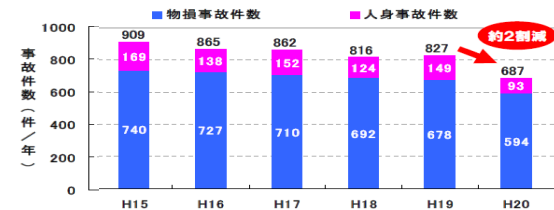
ー平成19年度事故対策箇所における事故件数の変化ー



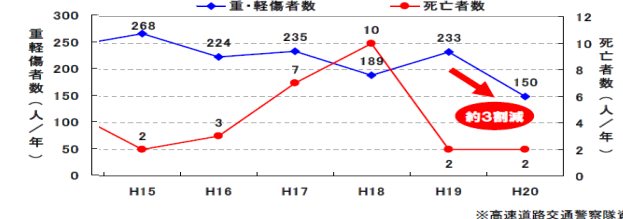
ー平成19年度事故対策箇所における人身事故件数の変化ー



■名阪国道の事故発生件数の推移



■名阪国道の死傷者数の推移



※高速道路交通警察隊資料

維持, 修繕

中京圏と阪神圏を結ぶ緊急輸送路である名阪国道(三重県区間)の安全で信頼性の高い道路を確保するために、日々の道路パトロール、冬季の凍結防止作業、路面・道路施設の保守・修繕等の維持・修繕事業、及び道路管理業務を実施しています。

道路管理

- ・高度道路情報システムの活用を図り、迅速かつ正確な情報提供、道路交通の円滑化を推進
- ・道路空間を利用した光ファイバーネットワークシステムの高度化
- ・降雪時の路面状況や、工事規制による渋滞状況を24時間リアルタイムで提供
- ・風水害・地震・雪害時における道路通行規制の実施
- ・特殊車両の通行許可、道路占用の許可等の実施

道路構造物の長寿命化とは

高度成長時代を支えた、多くの道路構造物が老朽化し順次更新必要となります。

しかし、更新には多額の費用を要するため現在の構造物が壊れる前に補強することで、長く使い(長寿命化)、建設費や維持管理費、補修費等、全て足し合わせた費用(ライフサイクルコスト)を縮減するため取り組んでいます。

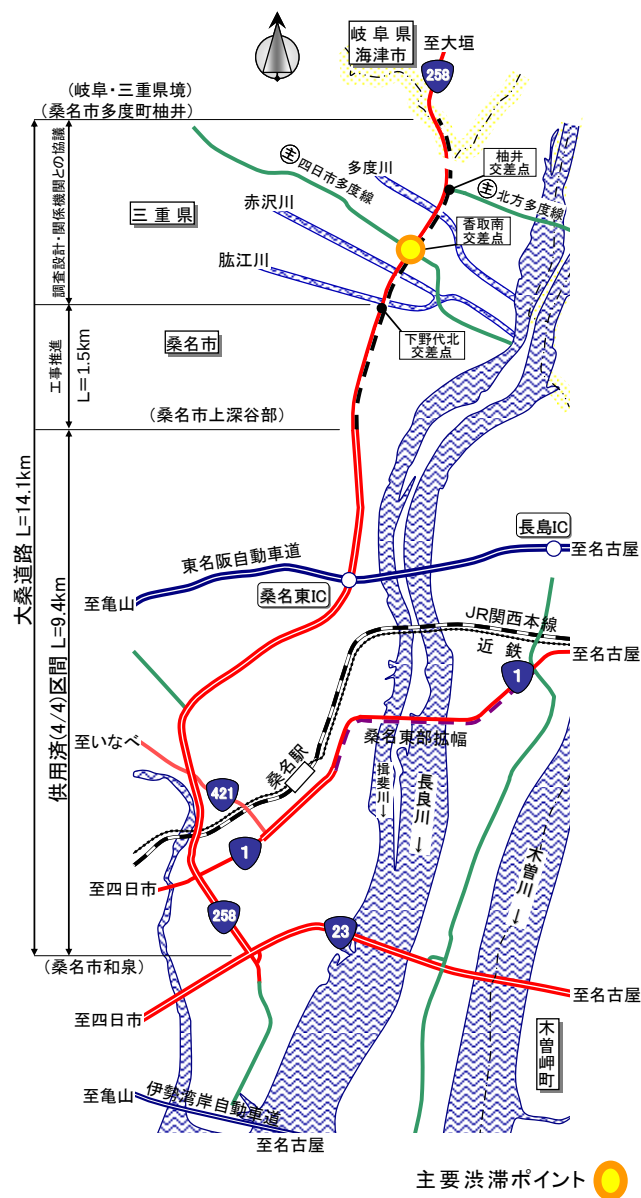


国道258号大桑道路

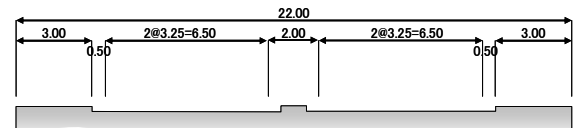
渋滞緩和・交通安全

だいそう せいとう ほうせい
大桑道路は、岐阜県西濃地域と三重県北勢地域間の円滑な交通流確保及び地域開発支援を目的とした道路で、全線暫定2車線供用後、交通量の増大、車両の大型化に伴い、順次4車線化を進めています。

本年度は、下野代地区までの4車線化工事を推進するとともに、県境までの調査設計及び関係機関との協議を推進します。



大桑道路は、延長41.6km（三重県内延長14.1km）の幹線道路で、昭和50年度までに全線暫定2車線で開通し、このうち三重県区間の桑名市上深谷部～同市和泉迄の延長9.4kmの4車線が完成しています。

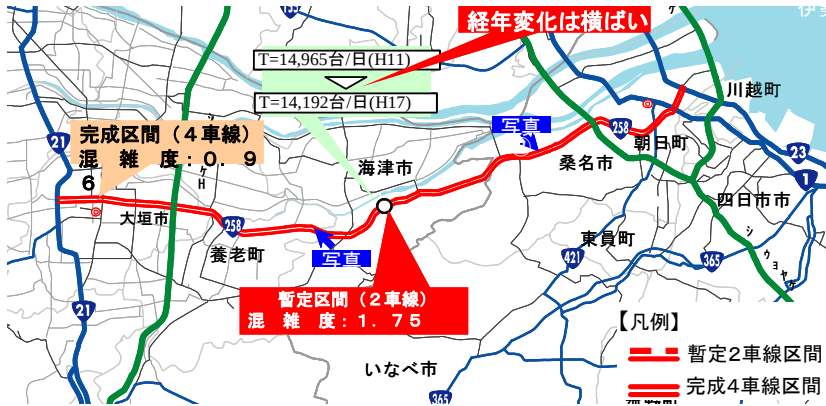


事業化年度	昭和40年度
都市計画決定	昭和40年12月28日 昭和54年2月6日
道路規格	第3種2級（4種1級）
設計速度	60km/h
供用区間	桑名市上深谷部～同市和泉 L=9.4km

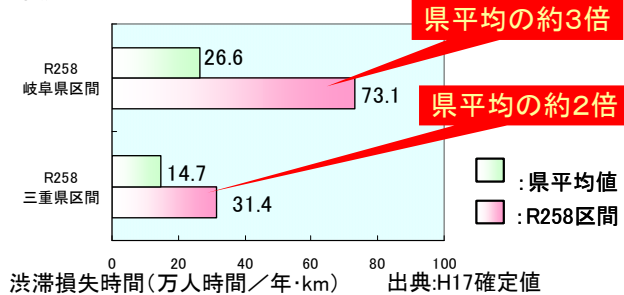
地域間の交流、連携を強化

■現況の交通状況

- ・海津市内暫定区間の日交通量は14,000台/日に及び、交通容量不足により、慢性的な交通渋滞が発生しています。(混雑度1.75)



＜渋滞損失時間(万人時間/年・km)＞



＜岐阜県養老町根古屋(写真①)＞



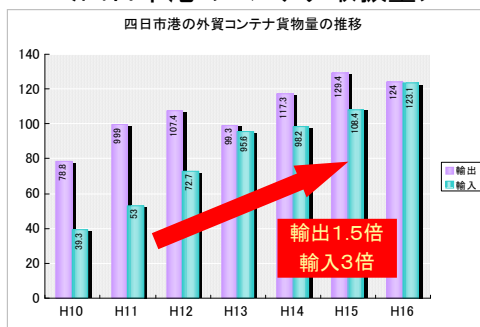
＜三重県多度町(写真②)＞



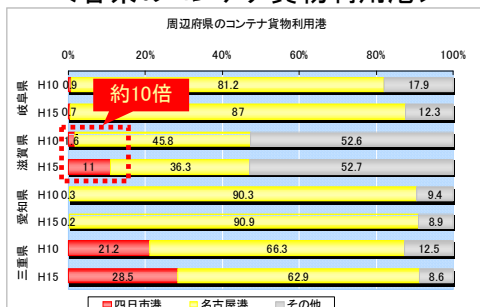
四日市港との連携確保

- 四日市港（スーパー中枢港湾）のコンテナ取扱量は年々増加し、特に滋賀県関連貨物利用は約10倍に成長しています。大桑道路は、滋賀方面等との輸送ルートとして位置づけられ、重要度が増大し、早期4車線が望まれます。

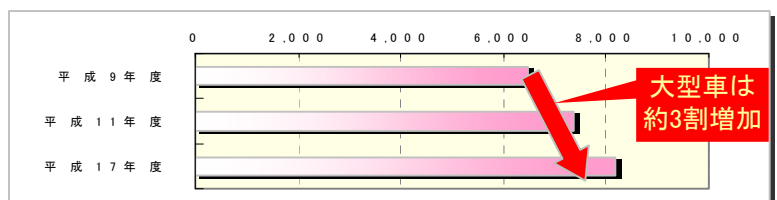
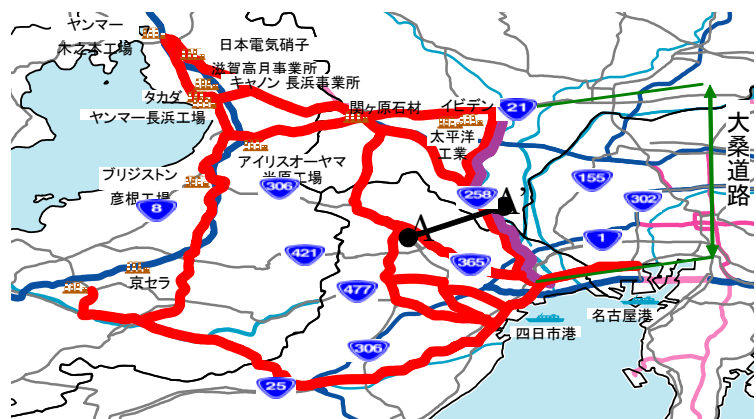
＜四日市港のコンテナ取扱量＞



＜各県のコンテナ貨物利用港＞



＜四日市港から滋賀方面へのコンテナの輸送ルート＞





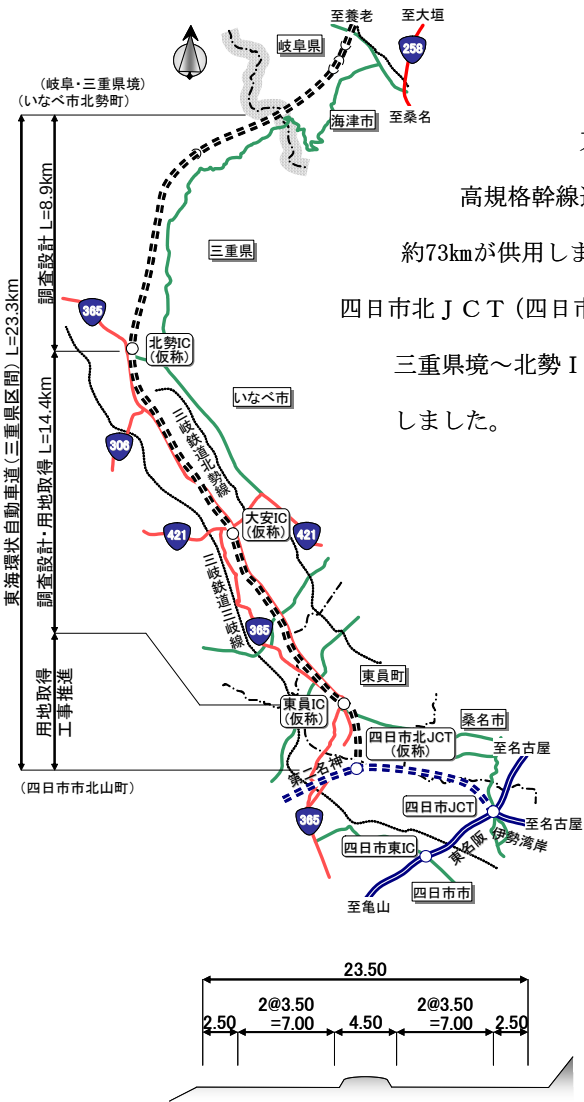
国道475号東海環状自動車道

環状道路機能の発揮・地域経済の支援・地域連携の強化

とうかい
東海環状自動車道は、名古屋市の周辺30～40km圏に位置する諸都市を有機的に連絡し、東名・
名神高速道路や伊勢湾岸自動車道等と一体となって全国的な交流ネットワークを形成し、地域の
秩序ある発展を図る基盤として、重要な役割を果たす環状道路です。

- 本年度
とういん よっかいち
- ・東員IC～四日市北JCT間については、用地取得、改良及び橋梁工事を推進します。
 - ・北勢IC～東員IC間については、調査設計及び用地取得を推進します。
 - ・県境～北勢IC間については、調査設計を推進します。

※JCT・IC名は仮称です。



東海環状自動車道は、延長約160km（三重県内延長23.3km）の
高規格幹線道路で、平成17年3月に豊田東JCT～美濃関JCT間の延長
約73kmが供用しました。三重県内は、北勢IC（いなべ市北勢町）～第二名神
四日市北JCT（四日市市北山町）迄の延長14.4kmを平成2年度に事業着手し、岐阜・
三重県境～北勢IC（いなべ市北勢町）迄の延長8.9kmを平成19年度に事業着手
しました。

（北勢－四日市）

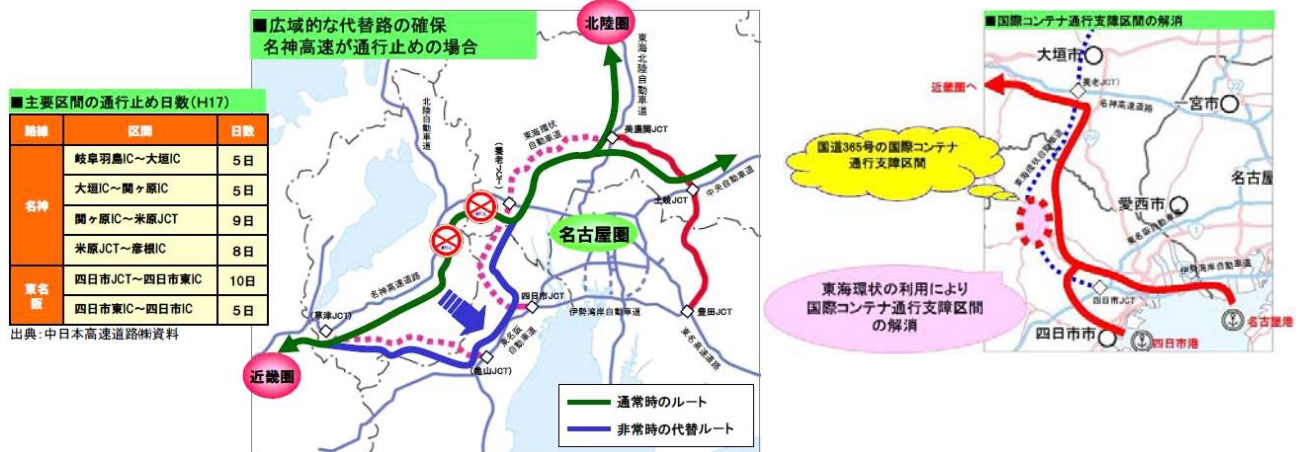
事業化年度	平成2年度
都市計画決定	平成4年1月21日
道路規格	第1種2級
設計速度	100km/h

（養老－北勢）

事業化年度	平成10年度
都市計画決定	平成19年4月24日
道路規格	第1種2級
設計速度	100km/h

高速道路ネットワークの形成による 緊急時のリダンダンシー(代替機能)の確保

東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、名神高速と東名阪自動車道をはじめとした、高速道路相互の代替機能が確保される。国道 365 号には、国際コンテナ通行支障区間があり、東海環状（北勢～四日市）の整備により、代替機能の向上が期待できる。



安心できる暮らしを確保

東海環状自動車道（西回り区間）の整備により、桑名市多度町から大垣市に立地する高次医療施設への搬送時間が短縮される。



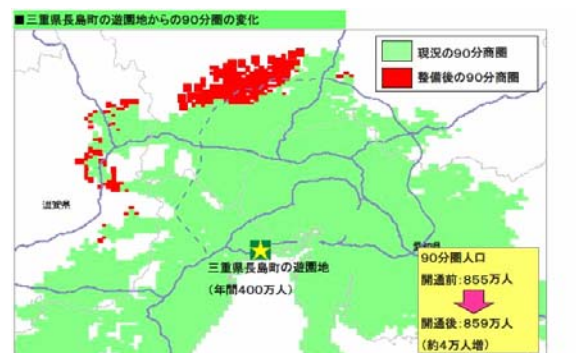
【アンケート・ヒアリング結果】

大垣市民病院は岐阜県であるが、多度町からは近いため国道258号を使って搬送する事が出来る。東海環状自動車(西回り区間)の整備により、到達が早くなると期待される。

(大垣市消防本部)

沿線の観光拠点との連携強化

・東海地域で最も集客の大きい長島地区にある遊園地（年間入り込み客数約 400 万人）の 90 分圏人口は東海環状西部区間の整備により約 4 万人増。その他、東海環状（北勢～四日市）周辺には岐阜県・三重県でも有数の観光施設が集積しており、東海環状を活用した観光周遊圏の形成が期待できる。



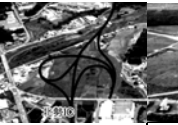
出典：デジタルロードマップ(DRM)より試算(H18)

■西部区間周辺の主な観光地
(年間入込数40万人以上)



出典)平成17年岐阜県観光レクリエーション動態調査結果

○ 諸元一覧

路 線 名	1 号			2 5 号	2 5 8 号	4 7 5 号	
簡 所 名	ほくせい 北勢バイパス	せき 関バイパス	くわな 桑名東部拡幅	めいはん 名阪道路	だいそう 大桑道路	とうかい 東海環状自動車道（三重県区間）	
							
当 事 務 所 事 業 区 間	み え ぐんかわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町 南福崎 よっかいちしうおめ ～四日市市采女	かめやまし たい こう じちよう 亀山市 太 岡 寺町 ～ せきちようわしやま 同市関町鷺山	く わ な し ながしまちようまた ぎ 桑名市 長島町 又 木 きはまちちよう ～同市北浜 町	たい こう じちよう 亀山市 太 岡 寺町 ～ 三重 ・ 奈良県境	たどちよう ゆ い 桑名市 多度町 柚 井 いずみ ～同市和泉	岐阜三重県境 ～ ほくせいちよう いなべ市北勢町	ほくせいちよう いなべ市 北勢町 きたやまちちよう ～四日市市北山 町
	L=21.0km	L=2.5km	L=3.9km	L=41.6km	L=14.1km	L=8.9km	L=14.4km
	計画延長≒28.4km	計画延長≒7.1km	—	全線延長=73.2km	全線延長=41.6km	三重県区間延長=23.3km 全線延長L≒160km	
構 造 規 格 設 計 速 度	第 3 種 1 級 80 km/h (一部60km/h)	第 3 種 2 級 60km/h	第 4 種 1 級 60km/h	第 1 種 3 級 60, 80km/h	第 3 種 2 級 (第 4 種 1 級) 60km/h	第 1 種 2 級 100km/h	
標 準 幅 員	W=25m 4 車線	W=28m 4 車線	W=30m 4 車線	W=22m 4 車線	W=22m 4 車線	W=23.5m 4 車線	
計画交通量 (台/日)	46,200	26,000	33,200	43,100	24,700	13,000	31,000
事 業 着 手	平成 4 年度	昭和49年度 平成 8 年度(復活) 平成15年度(延伸)	昭和51年度	昭和56年度	昭和40年度	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成 2 年度
都市計画決定	平成 2 年12月25日 平成11年 8 月17日 (一部変更)	平成 8 年11月 5 日	昭和26年 6 月14日 昭和61年 1 月31日	昭和39年度	昭和40年12月28日 昭和54年 2 月 6 日	平成19年 4 月24日	平成4年1月21日
用 地 着 手	平成 7 年度	平成12年度	昭和63年度	昭和56年度	昭和40年度	未着手	平成 5 年度
工 事 着 手	平成11年度	平成14年度	平成15年度	昭和56年度	昭和41年度	未着手	平成 9 年度
開 通 区 間	平成15年3月21日 かわごえちようみなみふくさき 川越町 南福崎 ひろながちちよう ～四日市市広永町 (伊勢湾岸自動車道 重複区間) (L=3.6km)	平成19年 8 月23日 おおいさか 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年 3 月23日 な ご や 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	平成19年12月13日 みやまちちよう 宮前町 交差点(下 り) 右折レーン 2 車線化	(名阪国道 L=41.6km) 昭和40年12月 全 線 暫定 2 車開通 昭和55年 3 月 全 線 完成 4 車供用	～昭和50年度 全 線 暫定 2 車開通 昭和55年度～平成10 年度 かみふかやべ 桑名市上深谷部 いずみ ～同市和泉 完成 4 車供用 (L=9.4km)	なし	なし
現 在 の 進 捗	あさひ みえ朝日IC たるさか ～(市)垂坂 1 号線 (L=3.5km) H21暫定供用予定	たいこうじちちよう 亀山市太岡寺町 おのちようにし ～同市小野町西 工事推進 調査設計	い せ 大 伊勢大橋架替関連区間 調査設計 関係機関との協議	ハード対策ソフト対 策の調査設計、イン ター改良工事の推 進、路肩拡幅工事、 関係機関との協議	下野代地区まで 工事推進	調査設計	用地推進 工事推進 調査設計
	たるさか (市)垂坂 1 号線 ～国道477号BP (L=5.6km) 用地推進	おのちようにし 亀山市小野町西 せきちようわしやま ～同市関町 鷺山 調査設計、用地推進 埋蔵文化財調査					
事 業 目 的	四日市都市圏の渋滞緩和	亀山 I C 周辺の渋滞緩和	伊勢大橋の架替と渋滞緩和	伊賀・亀山の交通の安全安心の向上	桑名・大垣間の渋滞緩和	北勢地域の高速アクセス向上	
	渋滞緩和 交通安全 地域プロジェクト支援	渋滞緩和 交通安全 地域プロジェクト支援	伊勢大橋架替 渋滞緩和 交通安全	交通安全	渋滞緩和 交通安全	環状道路機能の発揮 地域経済の支援 地域連携の強化	

○ 北勢・伊賀地域の紹介

市町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)	保有自動車数 (台)	製造品出荷額 (百万円)
くわなし 桑名市	136.61	140,554	50,278	90,478	431,707
きせさきちよう 木曽岬町	15.72	6,848	2,209	5,621	37,031
かわごえちよう 川越町	8.71	13,245	5,026	10,067	59,530
あさひちよう 朝日町	5.99	8,347	3,039	4,752	86,870
いなべし いなべ市	219.58	46,625	16,196	42,783	989,363
とういんちよう 東員町	22.66	25,803	8,448	20,814	115,780
こものちよう 菰野町	106.89	39,576	13,451	35,836	140,940
よっかいちし 四日市市	205.53	306,282	116,425	226,936	2,483,680
すずかし 鈴鹿市	194.67	196,966	72,877	148,910	2,021,476
かめやまし 亀山市	190.91	50,153	18,904	43,119	876,677
いがし 伊賀市	558.17	99,805	35,682	80,999	653,615
なばりし 名張市	129.76	81,227	29,199	53,399	231,890

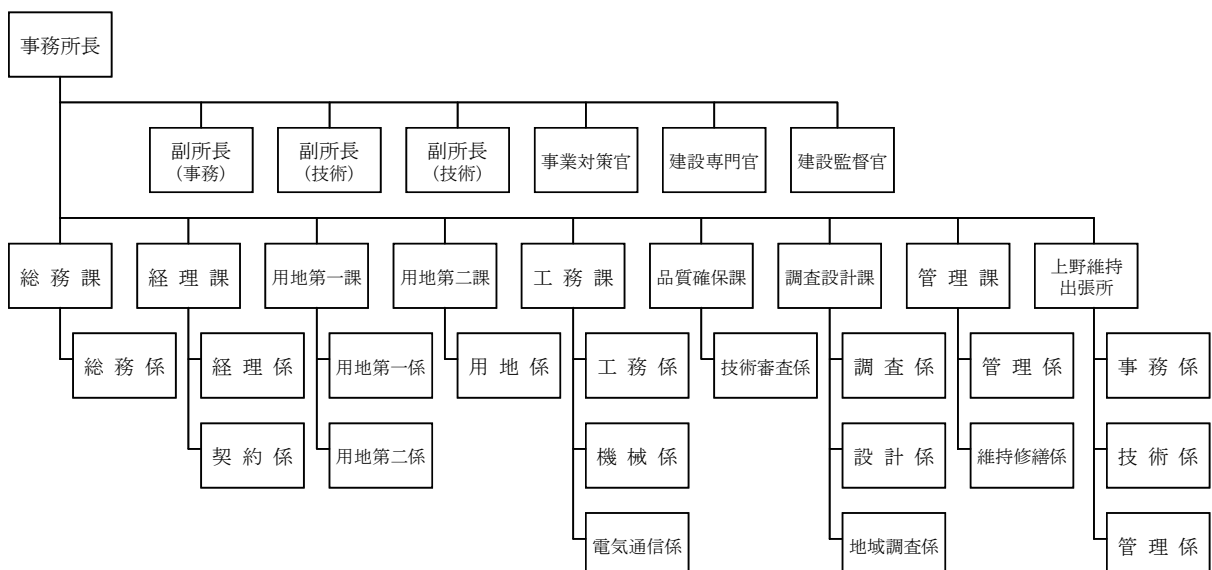
出典：三重県勢要覧(平成20年刊)

北勢・伊賀地域への観光レクリエーション入込客延数は三重県内の48.7%を占めます。

うち	北勢地域	12,935千人	(県内の 38.1%)
	伊勢志摩地域	4,479千人	(県内の 28.6%)
	中南勢地域	3,214千人	(県内の 18.0%)
	伊賀地域	1,795千人	(県内の 10.6%)

出典：平成19年観光レクリエーション入込客数推計書

○ 組織体制



お問合せ先



夢を広げるみちづくり，ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局

北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6

TEL : (059) 363-5511 (代) FAX : (059) 363-5521 (代)

〒519-0165 三重県亀山市野村4-3-25 (管理課)

TEL : (0595) 82-1312 (代) FAX : (0595) 83-1319 (代)

〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055 (上野維持出張所)

TEL : (0595) 21-3011 (代) FAX : (0595) 21-9742 (代)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>

携帯電話用サイト <http://www.hokuseikokudo.go.jp/keitai/>



北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道に関する貴重なご意見・提案・相談・情報をお寄せ下さい。

道の相談室

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/soudan/index.htm>

TEL : 0120-106-497

FAX : 052-841-3718

E-mail : soudan@cb-its.jp



幹線道路の異状を発見したら・・・

緊急通報 TEL : #9910 (24時間受付)